Think Energy！ 未来に向かって

第13回 エネルギー教育賞

2018年度

主　　催：一般社団法人 日本電気協会（電気新聞）

後　　援：経済産業省／文部科学省／環境省／日本エネルギー環境教育学会
独立行政法人 国立高等専門学校機構／一般財団法人 省エネルギーセンター
電気事業連合会／一般財団法人 電力中央研究所
一般社団法人 新・エネルギー環境教育情報センター（申請中・予定含む）

特別協力：日本教育新聞社

応募締め切り

2018年
10/31（水）
必着！

第13回 電氣新聞

「エネルギー教育賞」応募要項

募集期間

2018年7月1日(日)～10月31日(水)まで

趣旨

一般社団法人 日本電気協会(電気新聞) では、エネルギー教育の実践に取り組む学校現場を応援する顕彰制度として、2006(平成18) 年度より「エネルギー教育賞」を実施しております。本年度の第13回は、下記の要領で募集いたします。

たくさんのご応募をお待ちしております。

表彰の内容(予定)

1 エネルギー教育賞【最優秀賞】(計3件)

小学校の部1件、中学校の部1件、高校・高専の部1件――
受賞校にはそれぞれ表彰状と、副賞の賞金「50万円」を贈ります。

2 エネルギー教育賞【優秀賞】(計20件程度)

小学校の部10件程度、中学校と高校・高専の部合わせて10件程度――
受賞校にはそれぞれ表彰状と、副賞の賞金「10万円」を贈ります。

3 奨励賞

入賞者以外の応募者に活動事例集および記念品を贈ります。

※入賞校のエネルギー教育活動を支援した自治体・事業者・団体等については別途表彰する場合があります。

選考委員(予定)

「エネルギー教育賞」の選考委員につきましては、
以下の方々にお願いいたしました。

- **有馬 朗人** 氏　(武蔵学園長、元文部大臣) ＝選考委員長
- **小田 公彦** 氏　(山形大学特任教授)
- **木村 孟** 氏　(大学改革支援・学位授与機構 顧問・名誉教授)
- **熊野 善介** 氏　(静岡大学教授)
- **澁澤 文隆** 氏　(日本エネルギー環境教育学会会長)
- **東嶋 和子** 氏　(科学ジャーナリスト)
- **廣江 譲** 氏　(電気事業連合会 副会長)

選考委員長 有馬朗人氏

表彰の対象

エネルギー教育賞【最優秀賞・優秀賞】

「エネルギー教育」活動を前年度（2017年度）に行い、本年度も継続している小学校、中学校、高等学校および高等専門学校

取り組み内容としては

1 全体指導計画に基づく、全校挙げて「エネルギー教育」「環境教育」の中で、エネルギーにかかわる問題を取り上げている事例

2 1以外にも、●**教科や総合的な学習**　●**学年**　●**学科（高校・高専）**●**課外活動**などで、特色あるエネルギーに関わる学習や取り組み事例

――を選考対象とします。

※最終面に、昨年度受賞校の活動事例を紹介

昨年度のエネルギー教育賞表彰式での受賞校。

応募の方法

所定の書式(電気新聞ホームページよりダウンロードできます）に、下記の項目をご記入の上、事務局にメール、もしくは郵送してください。書式や、図表・写真使用は自由ですが、A4判6ページ以内に収めてください。

※応募書類等は原則返却いたしません。なお、応募内容を事例集や電気新聞の記事で活用させていただく場合があります。
また、冊子、DVDやCD等の参考資料を添付いただいても、審査の都合上、目を通すことはできません。ご了承下さい。

【応募書類の記入項目】

1 貴校のアピールポイント（箇条書き5項目以内）
2 エネルギー教育の狙いや教育課程上の位置づけ、活動期間
3 具体的な学習・活動内容と授業時間等
4 学習、活動を通じての子供たちの反応、変化
5 これからの学習・活動計画や方向性
6 地域や事業者等との連携状況

選考方法および発表方法（予定）

全応募書類より、下記の観点から選考を行います。

1 学習の目的や内容、教育課程上の位置づけ
2 創意工夫のあり方
3 子どもたちの変化の度合い
4 活動の継続性
5 活動の正確性
6 地域等との連携性

受賞校は2019年2月に電気新聞およびホームページで発表します。表彰式は3月に最優秀校等を招いて、東京都内で行う予定です。

応募・問い合わせ先

〒100-0006　東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館3階
電気新聞 総務局内「エネルギー教育賞」係 宛
TEL：03-3211-1558　FAX：03-3201-4738　E-mail：kyouiku@denki.or.jp
電気新聞ホームページ：http://www.denkishimbun.com
エネルギー教育賞　検索

昨年度受賞校の活動内容について

最優秀賞 【小学校の部】

いわき市立好間第二小学校

生活科、理科、総合的な学習の時間を中心に全学年体制のプログラムを組み、ものづくりや実験を体験活動に取り入れています。

また、大学や企業と連携し、エネルギー・科学の授業やエネルギー施設見学も行っています。これらの実践を踏まえ、将来のエネルギー環境問題の解決に係る人材育成の一端を担っていきたいと思います。

最優秀賞 【高校・高専の部】

筑波大学附属聴覚特別支援学校

生徒が正しくエネルギーについて学べるように取材したことや外部講師の講演等を可視化した教材開発を行っています。石炭や地熱、水力の施設を取材したほか、エネルギーミックスやエネルギー外交をテーマに講演会を実施し教材開発につなげました。

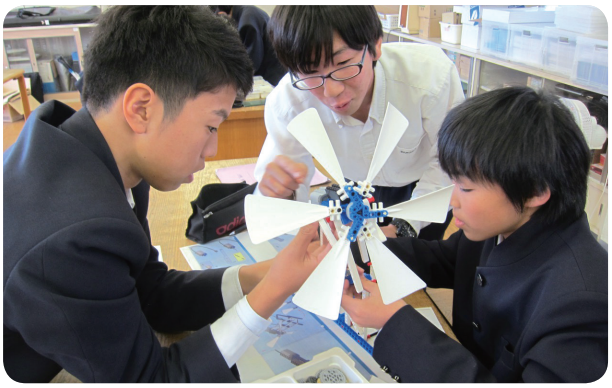
これらを全国のろう学校に向けエネルギー教育の教材として公開・貸与しています。

優秀賞 【中学校の部】

和歌山県立向陽中学校

３年間の総合的な学習を「環境学」とし系統的な学習を実施しています。２年生で発電方法の探究および効率化を学び、３年生では原子力をテーマにディベートも行い、卒論のテーマにエネルギーを選ぶ生徒も多いです。

この他にも、エネルギー施設の見学や学校見学会、文化祭などで地域への発信も行っています。



優秀賞 【中学校の部】

京都市立西京高等学校附属中学校

技術・家庭科を中心に理科や社会とのクロスカリキュラムによるエネルギー教育を実践しています。指導者が自作した視聴覚教材（絵本、立体模型など）を活用し、生徒の関心を高め、知識の習得につなげています。

企業等との連携のほか、「西京energy」通信を発行するほかホームページ、文化祭を通じ、外部への発信も行っています。

電氣新聞
（一般社団法人 日本電気協会新聞部）

一般社団法人日本電気協会新聞部が発行する電気新聞は、電力・エネルギー業界で唯一の日刊専門紙です。1907年の創刊以来、国内外のエネルギー政策をはじめ、エネルギーの需給動向、電力会社の経営、電力関連の技術開発などの情報を提供しています。読者は企業、自治体、官公庁、海外など多岐にわたっています。